



島根県水産技術センター

令和8年9月10日発行

トビウオ通信

漁況速報

ケンサキイカ情報

令和8年度 第3号

(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

6県(長崎県、佐賀県、福岡県、山口県、島根県、鳥取県)でケンサキイカ(地方名:マイカ、シロイカ)の情報(各地の漁況と底層水温)を共同発行しましたので、お知らせします。

I. 6月のイカ釣り漁況

① 各県の主要漁港における6月の水揚量について(平年は直近の過去5年平均)。

鳥取県	主要漁港の水揚量は、前年、平年を下回りました(前年比85%、平年比64%)。
島根県	主要漁港の水揚量は、前年を上回り、平年を下回りました(前年比120%、平年比77%)。
山口県	代表2地区の水揚量は、前年を上回り、平年並みでした(前年比150%、平年比103%)。
福岡県	代表港の水揚量は、前年を上回り、平年並みでした(前年比143%、平年比99%)。
佐賀県	標本漁港の水揚量は、前年並みで、平年を上回りました(前年比104%、平年比129%)。
長崎県	標本漁協の水揚量は、前年、平年を下回りました(前年比58%、平年比45%)。

※前年・平年比の評価は、90%以下では「下回る」、91%から109%では「並み」、110%以上では「上回る」としています。

② 各県の「1日1隻当たりの漁獲量(CPUE)の月別動向」と「6月の漁獲サイズ」について

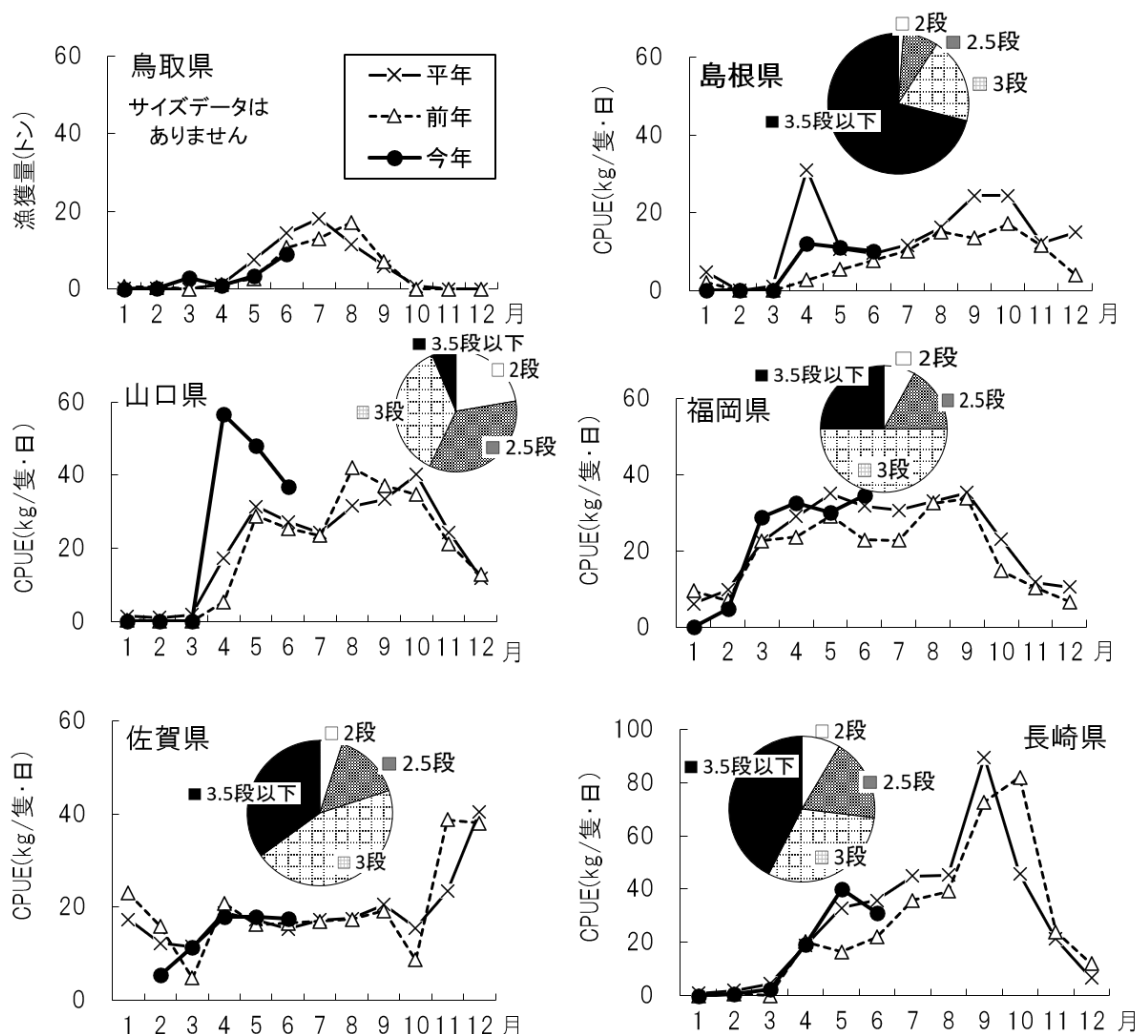


図1 各県のCPUE(折れ線グラフ)および漁獲サイズの割合(円グラフ)

※鳥取県のみ漁獲量で表示

Ⅱ. 7月上旬の底層水温

鳥取県	陸棚域（水深 47～189m）の底層水温は 1.7～19.8℃でした。
島根県	7月の水温データはありません。
山口県	陸棚上（水深 64～139m）の底層水温は 3.0～22.1℃でした。
福岡県	沖合の底層水温は 17.0～18.4℃で、平年並み～かなり高めでした。
佐賀県	壱岐水道の底層水温は 22.4～22.9℃、平年値と比べ+0.9～+1.6℃でした。
長崎県	五島西沖の底層水温は 15～18℃台でした。

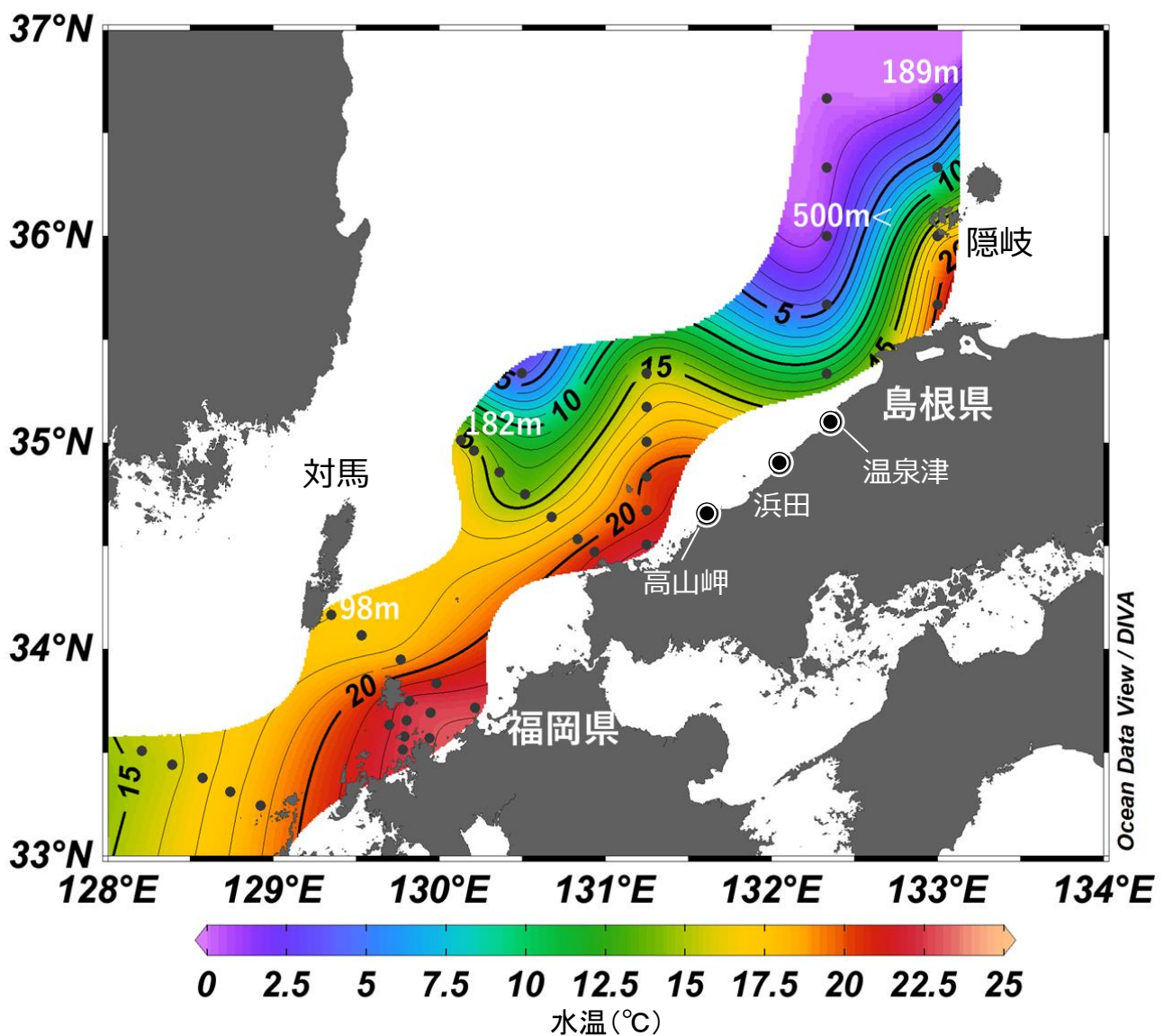


図2 長崎県～鳥取県の沿岸域・沖合域における底層の水温分布図

図中の丸（●）は観測点を、メートル（m）の単位がついている数字は水深を、単位がついていない数字は水温（℃）を示しています。

※モノクロ印刷の場合、水温帯の色の識別が困難ですので、ホームページでカラー版をご覧ください。